

令和4年（2022年）11月18日

## 南海高野線初！大阪狭山市駅南側踏切道内にエスコートゾーンを設置します

南海高野線で初めて、大阪狭山市駅南側踏切道内に、視覚障がい者が踏切道の外にいと誤認することを回避するため、表面に凹凸のある誘導表示等（エスコートゾーン）を設置します。

### ■施工予定日

- ・令和4年11月29日（火）最終列車通過後から翌日始発列車通過前まで
- ・令和4年11月30日（水）始発列車通過前に開放予定（雨天等の場合は順延）

### ■施工場所

- ・南海高野線大阪狭山市駅南側踏切道（大阪狭山市1号踏切道）

### ■経緯

- ・令和4年4月25日に奈良県大和郡山市内の踏切道において、視覚障がい者が列車に接触して死亡する事故が発生した。
- ・この事故を受け、6月9日に改定された国の『道路の移動等円滑化に関するガイドライン』において、「踏切手前部での視覚障害者誘導用ブロックの設置を標準的な整備内容」、「踏切内での表面に凹凸のある誘導表示等の設置を望ましい整備内容」としてそれぞれ位置付けられ、本市の踏切道においても対策の検討を始めた。
- ・本市6月議会において、踏切道を通行する視覚障がい者の安全対策に関する要望があった。
- ・8月24日には、大阪狭山市身体障害者福祉協議会から大阪狭山市内の踏切道内にエスコートゾーンの設置を検討するよう要望があった。
- ・9月13日、踏切道手前部に視覚障害者誘導用ブロックを先行設置した。
- ・エスコートゾーンについては、別途、南海電気鉄道と協議を行い、国のガイドラインに基づき、車道と歩道が分離されている踏切道について、設置することとなった。

問い合わせ 土木グループ（担当／那谷） ☎072-366-0011